

LGBT法 連合会

2019年参議院議員選挙に際して
LGBT（性的指向・性自認）をめぐる課題に関する
各立候補者の政策と考え方に関する調査<調査票>

2019年7月15日現在

比例区 日本共産党所属 候補者の回答結果

現時点での日本共産党回答回収ご立候補者（回収順）

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ、
青山りょうすけ

問1 貴殿が今回の参議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかの
LGBT 支援・権利確保政策は既に含まれていますか？将来はいかがでしょうか？（単
独回答）

1. LGBT の課題として、既に含まれている

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ、青山りょうす
け

2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている

3. 将来入る可能性はある

4. 将来入る可能性はない

その他（具体的に： _____）

●青山りょうすけ：既に含まれていますが、さらに充実をはかります。なお、比例候補です
ので、日本共産党の政策でも重視して盛り込んでいます。

問2 個人としての、LGBT 当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人から
LGBT であることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうかさいま
すか？（複数回答可）

1. その人を尊重し応援したいと思う

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ、青山りょうす
け

2. 距離をおきたいと思う
3. 差別や偏見で苦勞するだろうから、異性愛者としてや、戸籍上の性別のままで生きるように諭す
4. 答えられない／分からない
5. その他（具体的に： _____）

●青山りょうすけ：その人を尊重し、応援したいと思います。

問3 LGBT支援政策の下記の①～⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選択肢1～5から選び、ご記入下さい。

① 性的指向・性自認と、LGBT当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ、青山りょうすけ

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●青山りょうすけ：法律で義務化すべきであるが、同時に啓蒙が大切。義務化しつつ現場での理解の促進を大切にしていきたい。

② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBTへのいじめ・差別を防止する。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ、青山りょうすけ

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●青山りょうすけ：法律でることによって、義務化すべき。現場の裁量だけでは、権利擁護はむずかしい。

③ 国・自治体の各レベルで、LGBT（性的指向・性自認に係る）の困難解消に向けた基本計画を策定し、実施する。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ、青山りょうすけ

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●青山りょうすけ：自治体・省庁まかせでは、現状で人権は守りきれない。

④学校における、LGBT へのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ、青山りょうすけ

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●青山りょうすけ：対応は現場に任せるが、そのためにも法律は必要。

⑤困難を抱く LGBT に対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ、青山りょうすけ

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●青山りょうすけ：法律で義務化しないと、予算措置も困難となる。

⑥LGBT に対する（性的指向・性自認に係る）、差別や不利益取扱い防止・禁止する法律やルールを制定する。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ、青山りょうすけ

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない
5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●青山りょうすけ：当然、必要である。

⑦施設・職場・学校等にて、LGBT に配慮した、サービスや施設面の対応を推進する。

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである。

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである
青山りょうすけ

3. 現場の裁量に委ねるべきである。

4. わからない

5. その他／1-4 から選択肢を選んだ上での補足、等（自由回答）

●青山りょうすけ：これまでの義務化を法律で定めることにより、行政、省庁の対応が可能になるのではないか。

問4 世界では、現在 27 の国と地域で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域でも同性間に適用できるパートナーシップ制度が広まっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

1. 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ

小池晃、伊藤理智子、井上哲士、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ、
青山りょうすけ

2. 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ
3. 現在の婚姻に加えて、（事実婚など異性間でも、）同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ

小池晃、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ

4. 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ（渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市等の例にならい）

小池晃、伊藤理智子、沼上徳光、紙智子、椎葉寿幸、梅村さえこ

5. こうした制度は異性間のものであるべきで、特に必要ない
6. 答えられない／分からない
7. その他（具体的に：)

●青山りょうすけ：同じ婚姻制度を適応できるようにすべきだ。

問5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面する LGBT 当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事をされたいとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

(自由記述)

●小池晃：SOGI（性的指向および性自認）の多様性を尊重し、誰もが、その人らしく、楽しく、誇りをもって生きていける社会へ。社会に大きなインパクトを与えてきたのが、東京レインボープライドです。その東京レインボープライドのパレードに私は、昨年と今年、参加させて頂きました。

なにより最も変わらなければならないのが政治の場です。意思決定の場に多様なマイノリティが参加することは、公平で公正な社会をつくる上でも決定的に重要です。今年の統一地方選挙でも新たな参加がありましたが、まだまだ緒に就いたばかりです。

日本共産党は、今回の参議院選挙において、「個人の尊厳とジェンダー平等」を公約の大きな柱の一つに位置づけ、この中で「LGBT/SOGI に関する差別のない社会をつくります」として、①同性婚を認める民法改正、②パートナーシップ条例・制度の推進、③「LGBT 差別解消法案」の成立、④性別適合手術のホルモン療法の拡充、学校教育・企業内研修、当事者である子ども・若者のケアなど社会のあらゆる場面で権利保障と理解促進をすすめる一との政策を掲げています。

個人の尊厳を尊重し、多様な性のあり方を認め合う社会へ、引き続き、惜しみなく努力していきたいと思います。

●伊藤理智子：札幌市議をしていた時に、LGBT カップルを公的に認証する「パートナーシップ宣誓制度」を市が導入するように取り組みました。導入後の2年間で68組が制度による先生をおこない、38事業所がLGBTの人たちが働きやすい企業を認定する「フレンドリー指標制度」に登録しました。「男女の平等、同権をあらゆる分野で実現し、女性の社会的、法的地位を高める」「マイノリティの人たちのありのままの姿を肯定することが健全な社会」との立場で、人権を守り、生活向上のための取り組みをおこないます。

●井上哲士：「個人の尊厳とジェンダー平等」を公約の大きな柱の一つに位置付け、差別のない社会をつくりますとして、同性婚を認める民法改正、パートナーシップ条例・制度の推進、LGBT 差別解消法案の成立、性別適合手術のホルモン療法への保険適用の拡充、学校教育・企業研修、子ども・若者のケアなど、あらゆる場面で権利保障と理解促進を図ることを政策に掲げています。

当事者の方々の運動と結んで、人権が尊重される社会を実現していくためにがんばります。

●沼上徳光：地方議員時代に粘り強く性的マイノリティの権利保障、教育現場での理解促進など議会で取り上げたことで、性的マイノリティをテーマとした講演が開催されたり、ホームページでの発信や周知もされ、行政レベルでの理解促進が進められるようになりました。

誰もが自分らしく暮らせるよりよい社会を目指し、LGBT 差別解消法案や同性婚を認める民法改正、同性パートナーシップ条例・制度推進のために力を尽くします。

●紙智子：公約の一つとして「個人の尊厳とジェンダー平等」を掲げています。みなさまと引き続き一緒にがんばります。

●椎葉寿幸：党として LGBT・SOGI に関する差別のない社会をつくるために、同性婚を認める民法改正、パートナーシップ条例・制度の推進、LGBT 差別解消法案の成立、性別適合手術のホルモン療法への保険適用の拡充、学校教育や企業内研修などあらゆる場面で権利保障と理解促進をすすめる政策を掲げています。

私は昨年、自民党の杉田水脈議員の「生産性がない」という性的マイノリティーへの差別発言に対する自民党本部前での抗議行動に参加しました。抗議行動では参加者の方からカミングアウトがあり、勇気ある行動に胸が熱くなりました。

先月ニューヨークで行われた LGBT、性的マイノリティーへの理解を深めるためのパレードには日本を含む世界各国から過去最高の 15 万人が参加しました。性的マイノリティー支援・共生の流れは世界規模で広がっています。憲法 13 条で保障されている個人が尊重される当たり前の社会、一人一人が自分らしく生きられる社会をつくっていきたいと思います。

●梅村さえこ：皆さまのご活動に心より感謝を申し上げます。人権、個人の尊厳を大切に、差別のない社会をつくるために私も皆さまとともに力を尽くしたいと考えています。

そのために、①同性婚を認める民法改正、②パートナーシップ条例・制度の推進、③LGBT 差別解消法案の成立、④性別適合手術のホルモン療法への保険適用の充実、学校教育、企業内研修、当事者である子ども・若者のケアなど、社会のあらゆる場面で権利保障と理解促進をすすめます。

●青山りょうすけ：日本国憲法 13 条は、すべての国民は個人として尊重されるとしています。性のあり方を含めて、すべて国民の多様性を尊重する社会の実現のために頑張ります。社会のあらゆる場面での、LGBT の人権尊重と理解促進が必要です。まず、野党共同提出の「LGBT 差別解消法案」の成立をめざします。同性婚を認める民法改正に取り組みます。